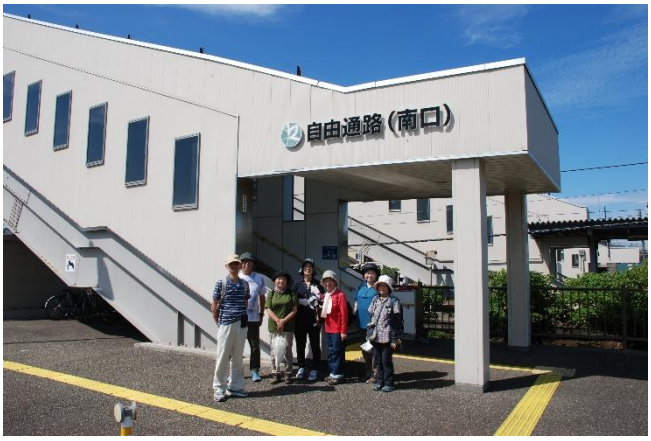
令和 8 年 9 月の　シニアカレッジ上越同窓会グループ活動「楽足会（らくほかい）」の活動

～　第 4 弾　一駅間歩き　直江津駅から黒井駅　往復　～

9 月 18 日（金）に、令和 8 年度楽足会第 4 回目の活動を行いました。
7 月は大雨、8 月は熱中症警戒警報発令で中止、三ヶ月ぶりの活動でした。
当日は気温 30 度が予想される中、直江津駅前から歩行開始、関川沿いに北上し 20 分ほどで「平和記念公園」で水分補給休憩を行いました。
「平和記念公園」は、戦時中、外国軍捕虜を収容する直江津捕虜収容所が設けられていましたが、冬季にそこに収容されていたオーストラリア人捕虜 300 名の内 60 名が大寒波のため、肺炎・栄養失調・脚気等などで病死した。なお、戦後、収容所の警備員 8 名は捕虜虐待を理由に横浜軍事法廷においてBC級戦犯として死刑判決、処刑された。
昭和 63 年に、オーストラリア・カウラ市の神父と元捕虜だった人が収容所跡地を訪れたことがきっかけで平成 7 年に整備され、亡くなった捕虜と処刑された警備員の慰霊碑 2 基が設置され公園化された。



【　平和記念公園で」



【　折り返し地の黒井駅（無人駅）で大休憩　】

続いて、直江津港の佐渡汽船前、福島城跡地を経由、現在は舗装された生活道路となっている旧国鉄の線路敷き跡地伝いに進み、目的地の黒井駅に到着、大休憩をして往路と異なる復路をスタートした。

復路の途中、保倉川沿いに海洋レジャーの拠点として設けられた、プレジャーボート 350 隻収容可能な「マリーナ上越」で、陸上に収容されていたプレジャーボートが水面に下ろされる珍しい光景を見ることができ、気を新たに直江津駅へ向かい歩を進めた。



【　マリーナ上越で立ち一服　】



前日の不安定な天候と異なり天候に恵まれ、汗ビッショリの歩行であったが、気持ち良い汗をかきながら無事直江津駅前に帰着することができました。

【　出発・帰着地の直江津駅前で集合写真　】